

新春に集う
賀詞交歓会開催



1月5日、西部総合公園体育館において、約300人が出席し賀詞交歓会が行われました。当日は、平成18年中に善意銀行や奨学基金、施設整備、芸術文化振興、防犯交通安全対策等に20万円（相当）以上の寄附をされた方々に、矢数市長から感謝状が手渡されました。

新年のあいさつなどが和やかに交わされる中、アトラクションとして、美和地域の鷺子祭囃子保存会によるお囃子が披露され、新春の集いを賑やかに盛り上げていました。

小瀬一揆130周年記念

12月9日、小瀬一揆130周年記念事業が緒川総合センターにて開催され、70人が参加しました。

小瀬一揆は、明治9年、地租改正に反対して県北33か村（現常陸大宮市と城里町）の農民が起こした民衆運動で、これにより地租が引き下げられ、地域住民の生活は救われました。

当日は、慰霊式と野上平先生による公演「地租改正と小瀬一揆」が行われ、参加した方々は勇気ある義民の行動に思いを馳せ、当時間を偲びました。



目指せ！未来の野球選手！

1月20日、市内で合同自主トレを開いていたプロ野球選手の指導により、山方運動公園野球場で「野球教室」が開催されました。

指導したのは、巨人の野間口貴彦選手、梅野雅史選手、佐藤弘祐選手と、

日本ハムの武田勝選手、八木智哉選手の5人。

教室には山方中野球部、常陸大宮リトルリーグ、美和スタッピーズスポーツ少年団、御前山ビクトリー野球スポーツ少年団の約130人が参加し指導を受けました。子どもたちは、プロの言葉に耳を傾け一生懸命練習に取り組みました。

教室終了後にはプレゼント抽選会があり、各選手が使用したグローブやスパイクなどたくさんのお賞品が当たり、子どもたちは大喜びでした。



総務大臣、県知事へ要望陳情

2月1日、矢数市長は総務省を訪れ、菅総務大臣に面会し、現在の常陸大宮市の財政状況等を説明。林業の振興をはじめ、市活性化対策を行うための財源確保について陳情を行いました。

また、2月6日、茨城県庁を訪れ、幹線道路の拡幅・舗装等の改良整備の早期実施についての陳情書を、関係市町村と合同で橋本知事に提出してきました。



▲菅総務大臣に説明する市長



広報協力員レポート 相沢 洋子さん（諸沢）

山方の鳥追い

1月21日、山方3区で「鳥追い」が行われました。鳥追いとは、田や畑に小屋を建て、子どもたちがその中に籠もって行く小正月の行事で、もとは田畑の害鳥を追い払い豊作を願うものでした。昔は多くの地域で行われていましたが、現在ではほとんどが断絶してしまいました。

山方3区では、この伝統を残すと共に地域の人々の繋がりを深めようと、8年前に復活させました。鳥追いには、小屋作りをはじめ花餅やそば、芋串づくりなど地区内の人々が総出で協力し合い準備を進めます。

また、鳥追いの中では42歳の厄年の男性が「厄落とし」の意味を込めて賽銭を落とし、それを子どもが拾うという儀式を行います。

当日は、地区内の子どもからお年寄りが集まり、振る舞われた芋串やそばなどを味わいました。歴史ある行事を守りながら、世代を超えた交流が深められたようです。



▲橋本知事に陳情書を提出